

期末テストが始まりました。

6月17日(水)

本日より期末テストが始まりました。各家庭ではテスト中にはどのような学習を行っているでしょうか。最近気になるのが、教科書や参考書にマーカーを引き、赤や緑の半透明のシートを使いながら無言で暗記をしている姿です。私たちの子どもの頃は、声に出しながら広告の裏面になどに何度も書いて覚えたものですが、最近は目からの情報だけで暗記をしようとする生徒が多いように思います。これもテレビやスマホなど、受け身でも得られる情報が原因かもしれません。ただでさえ物事を忘れやすい人間は、どのような工夫をしたら効率良く短時間で暗記することができるのでしょうか？五感（目・耳・鼻・肌・味）を活用する暗記方法がとても効果的だと言われています。その中でも、音読はかなり効果的な記憶方法と言われています。音読は、口から出した音を聞く（聴覚）と目で文章を見る（視覚）の2つを使った暗記方法になります。普通に黙読だけで覚えようとする場合は、視覚しか使いません。音読の場合は視覚と聴覚の2つを使うことになります。これだけでも覚えるのに要する時間は短縮されると言われています。できるだけ多くの感覚を使って記憶をしていくことが短時間で覚えるコツになります。また、テスト前日には、一度解いた問題をテスト形式で解き直すことが大切です。覚えたことの確認の場がテスト本番というのは避けるべきです。テスト前日には、新しいことを勉強するよりも、一度解いたワークや問題集、プリント、過去問などを見直し、本当に理解できているか確認するために、もう一度解き直してみることが大切です。その時に、テスト形式で時間を計測しながら問題を解き直すとテストの予行演習にもなるので、テスト本番でも力が発揮しやすくなります。範囲が広くてすべて解き直すことが難しい場合は、最初に解いた時に間違えた部分を中心に、もう一度解き直してみるのがよいと思います。「学ぶ」ということはテスト対策のためだけではありません。人生100年と言われる時代を生き抜くためには、一生学び続けなければなりません。生徒たちの定期テストに向けた準備は、そのスタートラインに立ったに過ぎません。

～最高の準備をして最高の結果（景色）～ がんばれ山中生

○「子どもが描く学校図書館づくり」支援事業の

プロジェクトチーム会議の様子（6月10日）

